

2020年度の中学入試にかかる変更点

- ①総合進学コースの募集数を180名から30名少ない150名に変更します。(Sコースの60名は変更ありません)
- ②「帰国子女特別入試」「英語入試」「プレゼンテーション入試」3つの入試を「多様性特別選抜入試」と位置づけ実施します。
- ③英語での入試を、「英語入試」として独立させ、英語1教科のみの受験としました。また、入試問題の難易度も再検討したうえで1月18日(土)の午前に実施します。
- ④帰国子女特別入試の時期、回数を変更するとともに、11月には上海・バンコクの2か所でも実施します。
- ⑤新たに、「プレゼンテーション入試」を1月18日(土)の午前に設定します。
- ⑥「帰国子女特別入試」のうち1月18日(土)実施分と「プレゼンテーション入試」、「英語入試」については、外部会場(三宮研修センター)のみで実施します。
- ⑦後期Ⅰのうち総合進学コースについては、国語と算数のどちらか得点の高い教科の得点 $\times 1.5$ と低い教科の得点 $\times 0.5$ の合計で合否判定することとしました。
- ⑧前期Ⅱ(適性検査型入試)のうち三宮外部会場の試験開始時間を昨年より20分遅らせます。それに伴い、昨年までおこなっていた遅刻対応を無くします。
- ⑨前期Ⅰ入試の各教科間の休憩時間をそれぞれ5分間短縮し、15分とし、4教科を連続して実施します。

その他

2020年度より高等学校に「国際コース」新設します。中学からの入学生は、高校進学時に、「国際コース」を選択することが可能です。